

令和 5 年 6 月 27 日
全麦連・食糧部

精麦生産・原料加工数量の動向等について

令和 4 年度の精麦生産数量は 155 千製品トン(原料換算 218 千トン)で、前年同期比概ね 100%となっています。原料加工数量について、国内産麦の数量が、全ての用途において前年対比で増加しており、全体の内麦率は 58.5%となっております。

精麦生産数量の推移

(単位：製品トン)

年 度	主食用	味噌用	焼酎用等	計
令和元年度	37,183	18,048	104,800	160,831
令和 2 年度	35,857	15,952	103,145	154,954
令和 3 年度	34,819	15,914	102,509	155,115
令和 4 年度	33,618	15,923	103,931	155,276
前年対比	96.6%	100.1%	101.4%	100.1%

令和 4 年度食糧用大麦・はだか麦の用途別原料加工数量について

(単位：トン)

用 途	国 内 産 麦					外国産麦
	麦 種	数 量		前 年 対 比	内 麦 率	
		3 年度	4 年度			
主食用 (50,069)	6 条	22,051	24,101	109.3%	(65.8%)	(17,830)
	2 条	10,423	7,599	72.7%		
	はだか	1,849	4,009	216.8%		
	計	34,323	35,709	104.0%		
味噌用 (22,884)	6 条	181	141	77.9%	(92.3%)	(1,759)
	2 条	14,115	14,867	105.9%		
	はだか	6,750	6,942	102.8%		
	計	21,046	21,950	104.3%		
焼酎用等 (144,726)	6 条	464	645	139.0%	(45.2%)	(78,651)
	2 条	61,553	65,200	105.9%		
	はだか	2,958	3,936	133.1%		
	計	64,975	69,781	107.4%		
(217,679)	合 計	120,344	127,440	105.9%	(55.1%)	(98,240)
					58.5%	90,239

(注 1) 加工工場から行政への報告をもとに、全麦連で作成

(注 2) 用途欄の()内は、4 年度の内麦の合計。内麦率・外国産麦欄の()内は、3 年度の数値である。

北陸産麦について

主食用の国内産麦の原料加工数量は、北陸産麦を中心に 6 条大麦が約 24 千トンで、2 条大麦、はだか麦を合わせると 35.7 千トン。特にうるち性の国内産 6 条大麦は主食用精麦の原料として欠かせないものであり、主品種のファイバースノウをはじめ、国内産は白度が高く、加工適性に優れており、外国産麦では代替できません。引き続き、主産地である北陸地域での安定供給が望まれます。

また、消費者の健康志向と食感の良さから、もち性大麦の需要が高まり、これまで海外からの高β - グルカンのもち性大麦の輸入が増えましたが、需要量の減少により、令和元年度をピークに輸入量は減少しています。このような状況下、国内産のもち性大麦につきまして、需要に応じた安定的な生産をお願いいたします。

(参考資料)

① 民間流通麦における小粒大麦（6 条）の需給状況

(単位：トン)

	2 年産	3 年産	4 年産	5 年産
需要量（購入希望数量）（A）	56,803	46,975	49,778	58,569
供給量（販売予定数量）（B）	43,380	45,662	48,659	50,470
需給ギャップ（B－A）	▲13,423	▲1,312	▲1,119	▲8,099
充足率（B／A）	76%	97%	98%	86%

(注) 表中の 2～5 年産数量は、民間流通連絡協議会（民流協）資料より

② 全麦連の需要量（購入希望数量）

(単位：トン)

	小粒大麦 (A)	うち北陸産 (うるち)	うち北陸産 (もち)	北陸産計 (B)	北陸・比率 (B)／(A)
2 年産	35,155	24,781	2,192	26,973	77%
3 年産	28,058	20,760	1,528	22,288	79%
4 年産	27,739	20,009	1,504	21,513	78%
5 年産	27,037	17,841	1,990	19,831	73%

(注) 表中の 2～5 年産数量は、民流協報告数量から全麦連分を抜き出したもの

③ 令和 5 年産・福井県産麦の指標価格 (単位：円/トン、税別)

ファイバースノウ 45,701 円 (基準価格値比 98.6%)

はねうまもち 50,041 円 (" 107.5%)

(小粒大麦の加重平均価格 42,353 円) (全国米麦改良協会資料より)